



宇都宮大学地域デザイン科学部附属
地域デザインセンター



宇都宮大学地域デザインセンター

地域防災

シンポジウム 2025

首都直下型地震と
首都圏大規模水害における
栃木の役割を探る



日時

2025 年 **12 月 5 日 (金)** 13:00-16:30

場所

宇都宮大学陽東キャンパス
11 号館 1 階 アクティブラーニング教室

対象

行政・自治体関係者、防災組織関係者及び一般市民等

主催：国立大学法人宇都宮大学

共催：栃木県、栃木県防災士会、国立大学協会

後援：土木学会関東支部栃木会、日本建築学会関東支部栃木支所、下野新聞社、とちぎテレビ、NHK 宇都宮放送局、エフエム栃木、
栃木放送、栃木県社会福祉協議会、栃木県建設業協会、栃木県経済同友会、栃木県国際交流協会、とちぎ男女共同参画財団、

足利大学、国際医療福祉大学、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部

(調整中)

首都圏大災害と私たちの暮らし。

セクターを越えた支援体制を 事前に構築するために。

2022 年以降、30 年以内に発生する確率が 70% である「首都直下型地震」について、栃木県には被災地を抱えつつも、被災地に隣接する地域として、首都圏が有する様々な機能のバックアップの役割が期待されています。また、首都圏大規模水害も同様に、県内でも大雨による被害が想定される一方で、東京周辺からの避難者の受入も相当数見込まれます。

本シンポジウムでは、行政や企業、大学等の関係者が集い、それぞれ機関における災害対策体制について確認し、その有効性や課題を明確化させ、課題解決に向けた連携・協働の具体的な方策を検討します。

全体会 1

13:00-14:30 進行：地域デザイン科学部 教授 石井 大一郎 コメンテーター：地域デザイン科学部 准教授 近藤 伸也

- 開会、挨拶、宇都宮大学の取組説明 学長 池田 宰 / 地域デザイン科学部長 横尾 昇剛
- 講演①首都圏大規模災害による影響 東京大学 教授 目黒 公郎
- 講演②栃木で考えるべき首都圏大規模災害対策 理事 米田 雅子

ポスターセッション

14:30-15:00

- 栃木県内の防災士による取組 栃木県防災士会
- 学生による地域防災につながる活動紹介
- 企業がかかわる地域防災関連研究

全体会 2

15:00-16:30 進行：地域デザイン科学部 准教授 白石 智子

セッション 01 地域防災の推進に向けた行政の取組

- 話題提供①栃木県のこれまでの災害対応 栃木県危機管理防災局
- 話題提供②河川行政に関する対応 国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
- 話題提供③気候変動に関する対応 那須塩原市環境戦略部カーボンニュートラル課
- コメンテーターによるまとめ コメンテーター：地域デザイン科学部 教授 佐藤 栄治

セッション 02 社会共創による地域防災力の強化—宇都宮大学の取組—

- 話題提供④留学生と防災まちあるき 留学生・国際交流センター 准教授 飯塚 明子
- 話題提供⑤地震研究の動向 地域デザイン科学部 助教 中澤 駿佑
- 話題提供⑥流域治水に関する研究 地域デザイン科学部 准教授 飯村 耕介
- コメンテーターによるまとめ

コメンテーター：株式会社ユーユーワールド 代表取締役社長 小川 拓矢 / 地域デザイン科学部 教授 大森 玲子

- 総括コメント 理事 米田 雅子

お申し込み

こちらのフォームからお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/hVjqcY4mCr>

申込締切

2025 年 12 月 2 日 (火)



お問い合わせ

国立大学法人宇都宮大学
地域デザイン科学部附属地域デザインセンター
☎ 028-689-6235
✉ bosai@cc.utsunomiya-u.ac.jp